

秋田県議会議員【横手市選出】

お ばら 小原まさてる

がんばる!
秋田の
営業マン

37歳、現秋田県議会議員最年少。
保育園、小学校、中学校に通う3人の
子育て真っ最中。4世代9人家族で
暮らし、介護の現場も毎日経験。
若い力で秋田の未来を創ります!



▲国会議員への
提案・要望も
積極的に行っ
ています



PROFILE

横手市生まれ。
秋田ふるさと村、道の駅十文字の社員を経て、
34歳で秋田県議会議員初当選。

ごあいさつ



▲一般質問で登壇

県議会の仕事をさせて頂き、早くも4年近くが経過いたしました。
この間、秋田や横手に「仕事を作る仕事」と「農業の販路拡大」、そして「弱い立場に立つ政治」、「議会改革」に力を入れて活動してきました。
しかしながらまだまだ道半ばです。
成熟した社会の日本こそ、平和を守り、すべての人に居場所と出番を作り、「人への投資を拡げていくことでの経済発展」をすべきと考えますし、今の政治で置き去りにされている「生活者」、「納税者」、「消費者」、「働く者」、そして「地方」の立場にしっかりと立ち、二十年後の秋田を見据えた政治を行っていきたいと思っております。
少子高齢化日本一の本県はもう待たなしです。若い力で現状に体当たりしていきます。
今年も皆様の熱いご指導、ご支援を心よりお願い申し上げます。

県議会での活動

3年間で、一般質問4回、
総括質疑7回、賛成討論1回行い、
現場の声を届けています。

- 【1年目】農林水産委員、総合防災対策調査特別委員
- 【2年目】農林水産委員、総合防災対策調査特別委員、決算特別委員
あきた未来づくり交付金事業分科会委員
- 【3・4年目】農林水産委員、決算特別委員、あきた未来づくり交付金事業分科会委員



県政への反映

農産物加工の強化!

横手にも食品加工工場がどんどん出来ています。また、県内農業法人で加工に対する取り組みが進んできており、着々と効果が出てきています。

学校給食の地元産品使用率を上げる!

取り上げる前は地元産品使用率が28%だったものが、43%まで上がりました。

シニア世代の農業支援と起業支援、廃校の活用、認知症への取り組み強化、
屋台の営業緩和など様々な分野で取り組んでいます。



果樹生産農家視察



農業生産法人視察



種苗交換会にて



大規模肉用牛経営体視察



地域の夏まつりにて

こうして秋田を変えたい!



地方の再生

東京一極集中を打ち破る!

1. 全国一律ではなく、**地方だけを減税**
2. 財政力や少子化度に応じて電力や高速道路料金等を減免し、企業誘致や中小企業を活性化

農業の再生

基幹産業の農業を守り、攻める戦略を!

1. 農家を守る**戸別所得補償制度**を復活、さらなる拡充
2. 本県独自のハウス無償貸し出し制度
3. 6次産業化や輸送費、販路拡大への支援強化と、新規・更新時の設備支援強化
4. 民間を入れたマーケティング収集と独自ルートでの販路拡大

仕事づくり

雇用は「中小企業」から。徹底的にサポート!

1. 公共入札の抜本改革、**県内企業への発注優先**
2. 起業、新商品開発などのチャレンジ支援
3. エネルギー、食品、ITなど「伸びる産業」支援

暮らしづくり

日本の先を行く福祉で、すべての人に安心を!

1. 医療・介護従事者の待遇改善、賃金アップ
2. 認知症、老老介護などへのサポート充実
3. 子育て世代を**手当と設備で応援**
4. 女性が働き続けられる環境整備

まちづくり

20年後を見据えた地域への支援を!

1. 新しい公共**NPO支援**
2. 若者、芸術、文化、祭り支援の強化
3. 病院、買い物などの「生活の足」の確保
4. 空き家、空き店舗の改修・取得支援

議会改革の取り組み。



政務調査費の透明化のため、第三者の目を入れるべき!

今、全国的にも問題になっている地方議員の政務調査費。

初当選の年の2011年、県議会に支出内容のチェックに外部の目を取り入れて用途の透明性を高めようと、第三者機関の設置を求める政調費条例改正案を提出しましたが、自民党を含めた多数から本会議で否決され、実現にはなりません。

自身としては、**経費を節約し、自費で活動する**ことで、今までの**3年間で250万円以上、県に返還**しています。

議員の特権の打破を!

2014年12月議会にて、議員の三等親以内が県から発注を受けないようにすることなどの**政治倫理条例案を提出**しましたが、こちらも自民党を含めた多数から本会議で否決され、実現にはなりません。

戦う野党として今後ともしっかりと訴えていきます。